

学校教育目標「自ら学ぶ、心豊かなたくましい人間の育成」

能代市立常盤小学校

ときわ木

令和元年11月22日

613号

感動的だった閉校式典

新聞でも多数紹介されておりましたが、閉校式典について、ダイジェストで紹介します。

閉校式は齊藤市長さん、ご来賓の方々のご挨拶に続き、八代校長の挨拶、そして児童代表「大倉悠さん」の挨拶と、緊張感の中にも心に響くお話で、目頭を押さえる方が多くおりました。



閉校式の後、アトラクションです。1年生の元気な挨拶からスタートです。



ご来賓の方々も笑顔で、子どもたちの発表をご覧になってました。



常盤音頭で会場は、一気に盛り上がりました。



常盤小学校の始まりと言われているのは、荻橋の土谷家（塾のように勉強を教えていた）と、玉鳳院の柳川家。（常盤学校として勉強を教えていた）



（昔の子どもの様子）
体育館がなかったこと、男女別れて勉強したことを発表しました。



（常盤小学校の校章の説明）
真っ直ぐ伸びる杉、地区を表す五角形、円は平和を表しています。



常盤っ池のメダカ君。「絶滅しそうだっただけに、助けてくれてありがとう。」「みなさんのおかげで仲間がたくさん増えました。」



（山谷小との統合でスクールバス初日の様子）
緊張のあまり、バスに酔ってしまったが、すぐに常盤小の友達ができたそうです。

地域の方々に支えられ、炭焼き・ネギの栽培・米作りなど、様々な貴重な体験をすることができました。また、自分たちで収穫したネギやお米を販売するまで行いました。お世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



向小の5年生が、「僕たちと一緒に新しい向小をつくって行きましょう」と、駆け付けてくれました。

東雲中の先輩も「自信をもって新しい世界へ飛び立ちましょう」とメッセージをくれました。





常盤小学校卒業生に31人を合わせて、5,658名の顔で作られたモザイクアートは圧巻です。
全校児童心を一つにして歌った「涙をこえて」の合唱は、会場の皆さんを感動させました。



校庭に移動し、同窓会副会長（須合勉さん）の進行で除幕式が行われました。
同窓会長（小林甚一さん）の挨拶の後、除幕となりました。
最後の年の6年生5名が中心となって力強いエールを送ってくれて閉校式典は終了です。



たくさんの地域の方々に参加していただきました。ありがとうございました。

つくし会の皆さん、ありがとうございました

閉校を前に、楽しい思い出の1ページができました。



佐藤サチさんから、常盤小学校に通っていた頃のお話を聞きました。

小学校1年生の時に、大きな火事があり、その時の怖さは、今でも忘れられないそうです。
また、今のようないしかりした道ではない所を、吹雪の日でも上級生がお世話をしてくれて歩いて通ったそうです。下級生の面倒を見ながら、仲良く向小に通ってほしいというメッセージが込められていました。他にも、大人数の中には、様々な人がいるが、強い気持ちや自信をもって、向小で頑張りたいと話していました。



つくし会の方の手作りカルタで、みんな楽しみました。



心のこもった「手作りお弁当」をみんなにいただきました。他にもゼリー、漬け物、柿など、ほぼ完食、お代わり続出で大満足の子どもたちでした。「最高～」「おいしい～」「食べるのもったいない」という感想が聞かれました。ご馳走様でした！！

